

# さかいわ健康 ひろば mini



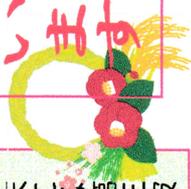
(医)新潟勤労者医療協会  
健康友の会坂井輪診療所  
〒950-2054  
新潟市西区寺尾東3-1-19  
友の会事務局  
☎・fax025-269-6682

年末、黒柳徹子さんの密着番組を見た。80歳を超えてもTV出演時は新人のように懸命にメモを取り、おもしろいパンには無邪気に声を上げる。その自分の「今」を生き生きと生きている姿がまぶしい。目の前の「今」を一生懸命生きていくこと。こんな風でありたいなあと思う。新しい年が始まった。昨日と同じ今日だけど、仲間と一緒に悩みながら、今生きていることを楽しんで、今年も「ひろば」発信します。今年が皆様にとってよい年でありますように。



## 新年おめでとうございます

◆坂井輪診療所 所長 安達 哲夫



新年おめでとうございます。昨年は「新型コロナウイルス」に始まり、年末には第三波が猛威をふるい、今年も新型コロナとともに生きていくことになりそうです。

新潟県では2月29日、新型コロナ感染第一例目が報道され、土曜の午後でした。全職員が集まって侃々諤々(かんかんがくがく)の議論を行い、まずは動線分離を開始、しかしこれでは不十分と考え、診療所2階集会室入口を閉鎖し空間分離、今ある「かせ外来」を設置しました。日々変わる新型コロナの情報に対して、毎日全職員で情報を共有し、対策を議論し、改善を積み重ねました。思い起こせば、今回ほど真剣に継続して一つの課題を議論してきたことがあったらどうかと思います。そしてみんなで知恵を出し合い、団結して頑張ってきたからこそ今がある、と確信しています。当初の課題は、3〜5月の患者数減少による経営難でした。もちろん全国的な傾向ですから当院だけの問題ではありません。

そこで議論の結果まとめた方針は「新型コロナを正しく恐れ正しくいただく」ということです。診療所の存在意義は地域のみなさんの命と健康を守ることであり、そのために自ら学び地域に発信することに努めました。新型コロナは飛まつ感染によって感染が広がる、それを防ぐためにはどうしたらよいか、また感染しても重症化しないためにはどうしたらよいか、それは免疫力を落とさないことです。バランスのとれた食事、なにより運動習慣、そして気持ちで負けないこと、閉じこもり、一人ぼっちにならないことです。また糖尿病や肺炎腫、心臓病などの基礎疾患があっても、良好にコントロールすれば重症化しないことをくりかえしお伝えしました。

6月にはかつてないほどの患者さんが受診され、遅れていた特定健診にしろかかりました。年末には前年以上の患者さんが受診され、おかげやまで経営も好転し、職員も忙しく仕事をさせていただいています。

さて西区では介護施設でのクラスター発生がありましたが、地域での散発例はほぼ濃厚接触者の範囲で捕捉されています。感染経路不明の患者さんがおられないのは、ひとえに地域のみなさんの意識の高さ、正しい行動様式をとっておられるからと感謝申し上げます。当院では、ひきつづき感染対策に努め、いつ新型コロナ感染症が疑われる患者さんが受診してもよいように、院内でできる簡易検査を準備し、また「新潟市医師会新型コロナ相談外来」と緊密な連携をとってまいります。また今年も「新型コロナワクチン」接種が始まるかもしれません。未知の有害事象など課題は山積みですが、地域のみなさんといっしょにこの難局をのりこえていきたいと考えています。

裏へ ↓



# 「訪問看護げやき」が「はまなす訪問看護」への 統合のお知らせ



## 「訪問看護げやき」が

「はまなす訪問看護」に統合しました。

今年もよろしくお願ひします。

「訪問看護げやき」は、令和3年1月1日付  
けで、舟江診療所内にある、新潟勤労者医療協  
会 「はまなす訪問看護ステーション」と統合いたし  
ました。今後は はまなす訪問看護ステーションの一員  
として、引き続き業務は継続いたします。なお  
当面は現寺尾東3丁目の事務所は、はまなす訪  
問ステーション分室として残ります。

これからもよろしくお願ひ申し上げます。

令和3年1月吉日

はまなす訪問看護ステーション

鈴木 千里

## ☆ ボランティア求めています

～あなたのお力をお貸し下さい～

○ 「明るい医療」「ひろば mini」などニ  
ースの配布と発送作業

◆ 配布はご自宅の近くの会員さん宅へポス  
ティング

◆ 発送作業は、毎月第1木曜日（原則）に  
折り込み・仕分します。

今後も「ひろば mini」「院内掲示」「ホームページ」などでさま  
ざまな情報をお知らせしていきます。どうぞ気軽に「意見」要望  
をお寄せください。今年もよろしくお願ひいたします。

表から→最後にひとつお知らせがあります。昨年お知らせし  
た「高齢者救急モデル事業」の開始は新型コロナ対応のため遅れ  
ています。しかしSWANネットが大きく進化しました。これまで  
医療介護関係者の連絡のための情報共有ツールとして使われて  
いましたが、昨年12月から「救急隊」「救急搬送先病院」でも共  
有できるように準備がはじまりました。

高齢者が安心して暮らしていただけるためには、休日夜間における  
救急対応が大変重要です。西区には7千人を超える介護保険認定  
者がいます。この方々をすべてかかりつけ医、かかりつけ病院と  
紐づけし、速やかに救急対応できるように準備することがモデル  
事業の柱でした。

新型コロナの時代であるからこそ、デジタル技術による情報共  
有が効率的であり、正確な情報を瞬時に共有できます。もしかか  
りつけの先生がSWANネットに加入されていないなくても、クアマ  
ネ、訪問看護、薬局などが加入されています。西区の9病院はす  
べて加入されています。気軽にお尋ねいただければと思います。



# 新年あけましておめでとうございます

N02

1月予定

13日(水)

幹事会



## 75歳以上医療費窓口負担 2割化に反対する団体署名

ありがとうございました

12/30 現在 211 筆集まりました

1/15 一次締め切りです～

引き続きお声掛けをお願いします